

鳥栖市 のあしんど

教育

学校教育関係においては殆ど各学校共増改築、施設充等で可なりの充実をみたが、なかでも鳥栖北小学校の用地買収と校舎新築に 2855万余円、基里中学校の移転新築に 1,734万余円と学校教育予算総額(4年間) 6,938万余円の約65パーセントを費消した。

なお、鳥栖北小学校は将来 1 横 10 教室が増設され全 24 教室編成となる予定、基里中学校は家事室、洋裁室、作教室などが 5 月までに完工予定で現在工事中のほか、将来普通教室、図工室、理科室など 7 教室が増設される予定である。

農業としては市内中学校の統合問題があるが、既に開拓地域の世論も統合へまとまりつつあり後は財源一つに懸ついている。幸い学校教育関係については積極的な父兄側の援助によって予期以上の成果を挙げた。

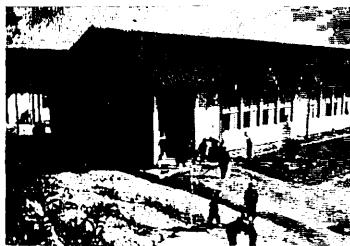
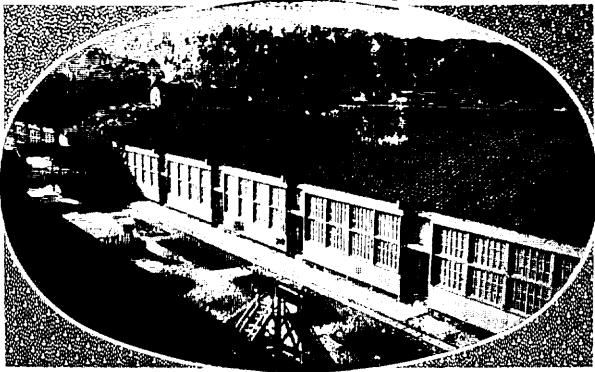
一方社会教育面においては、旭町公民館の新築をはじめ不動産、村田分館など建物、施設面に 500 万余円を施工したが、公管結婚の奨励や青年学級の開設など間接的に精神生活面にプラスするところが少くなかつた。



左、鳥栖北小学校全景

昭和30年から着工、このほど才三期工事を終え普通教室20教室ほか職員室給食室などを完成、この四月で児童数は1289人となる。

現在運動場の整地を急いでいる。



上、移転新築された基里中学校



写真上段、旭中学校の増築校舎
下段、田代小学校の増築校舎

上、旭小学校廊下の手洗施設



左、町村合併により完成をみた精(しらけ)井堀

農林



上、北海道より導入された乳牛牛一頭

相次ぐ水害の損傷により大井手、精、坂井手など大小20箇所の井堰工事や堤地復旧に約2,000万円、溜池、水路工事に約450万円、山林買収、林道新設に約580万円といつところが予算上に現れた主な事業であるが、乳牛や種豚の導入と市場廣協の設置など市興の全面的な農業奨励と援助によって新しい農業経営への先駆がつけられた。

市有林面積は現在約100町歩、この内の約51町歩が新に買収されたが、なお約50町歩に及ぶ未植林地の造成など今後に残された問題も多い。市としては将来財源とにらみ合せて国有林などの払下げにより市有林の増殖をはかる方針である。



上、基里小学校の給食室



上、鳥栖中学校の室内体操場兼講堂



上、盛況の青年学級（筑町立石磐寺で）



上、田代公民館における公管結婚風景



右
改良されたサガリ口



左、実験農場全景
(面積約四町の区画整地を終え生産性を導入一般試験利用の態勢を整えた)



上、市有林の一部（城の木の植樹）



右
新築の旭町公民館



左、常備消防部の新設車



右、工事の防火用水槽 (四十分トントン入防火用被設された)

伸び行く

市政4年



左、一の坪住宅地の今昔（元競技場跡の跡地 11,000坪を新住宅地に指定、昭和31年から着々市営住宅を建て、すでに80戸のピンクの屋根が山麓に美観を添えている。）下は建設前の同地



上、日住対策水路の一部

民生

この4年間に建設された市営住宅は1,2棟、簡易耐火、災害住宅合せて206戸、分譲住宅27戸、県営アパート4戸など。なかでも諫田、田代本村、蟹一の坪等新興住宅地として周囲の面目を一新した。

宿命の風土病、日住などのせいも地道に抜けられ、殊に日住対策水路は32年度まで延長15,672メートルがコンクリート化されたが、なお10年計画で延長13キロに及ぶ渦のコンクリート化が残されている。島西小学校のプールの揚水施設も日住のため水に恵まれない夏の子供たちへの應物であつた。

島崎保育町小崎町や公益賃屋の設置が勤労者の福音として歓迎されたのも特筆すべきもので、昭和32年から実施された「高齢者年金制度」は本市歴特のものとして喜ばれた。

このほか、自動電話切替に伴う市内僻地の簡易電話の架設や、オリエンタル・コンクリート工事や島西燃料支処理の成功、日町時代勝工事のエタニットパイプ島崎工場の創業、裁判所の新築移転、近くは鉄道駅舎の着工や国鉄電化工事の引継などと共に島崎市もようやく新興都市への前進を早めた感がある。



左、保育新設小崎町

左、諫田の分譲住宅



左、新設された島崎へ神辺附近
右、改良された東橋と四阿屋間市道



上、面目な一新した基里町酒井附近の大木川堤防

建設

建設開発予算累計額約4,000万円のうち、大半は河川、橋梁、道路等の災害復旧に追われ過しの昨今であったが、島崎～神辺、四阿屋、栗目～一の坪等の市道の新設、改良

も少くなかつた。

橋梁の新設改良で主なものは島の里、西郷、五郎丸、不動島、一葦渡など六橋が完成した。

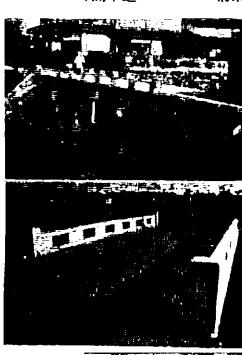
新規の駅前広場造成を中心とする都市計画は、なお一部に未解決の問題も残されているが、すでに大半は土地買収を終えているので将来市発展の要所だけに計画の様



左、沼川の護岸工事



左、安良川の護岸工事



左、(曾根崎の島)の島の里橋



写真 <上段>オリエンタル・コンクリート工場建設予定地附近 <中段>創業をはじめエタニットパイプ島崎工場の一部 <下段>九州補給處島崎工場

上、便利になった僻地の電話(諫田牛原で)

